

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (J A S D A Q コード8732)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成24年4月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成24年4月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

| 年 月 | 平成 23 年 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
| 営業収益 (単位：百万円) | 611 | 493 | 863 | 738 | 645 | 643 | 584 | 720 | 617 | 744 | 721 | 456 |
| 外国為替取引高 (単位：百万通貨単位) | 71,791 | 65,614 | 102,934 | 106,089 | 91,504 | 72,784 | 70,070 | 86,419 | 68,855 | 65,476 | 73,015 | 50,117 |
| 顧客口座数 (単位：口座) | 157,862 | 159,773 | 161,785 | 163,794 | 165,636 | 167,644 | 169,764 | 173,298 | 175,640 | 177,820 | 180,145 | 181,877 |
| 外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円) | 35,725 | 36,498 | 32,152 | 33,195 | 34,799 | 36,317 | 39,932 | 38,851 | 37,526 | 39,751 | 36,029 | 37,888 |

| 年 月 | 平成 24 年 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|
| | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
| 営業収益 (単位：百万円) | 508 | 652 | 638 | 485 | | | | | | | | |
| 外国為替取引高 (単位：百万通貨単位) | 53,593 | 78,387 | 112,254 | 80,325 | | | | | | | | |
| 顧客口座数 (単位：口座) | 184,260 | 186,877 | 189,570 | 192,007 | | | | | | | | |
| 外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円) | 37,732 | 36,935 | 39,034 | 41,341 | | | | | | | | |

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年6月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 4月次の概況 >

4月の外国為替市場は、米ドル/円については、82円後半で取引が始まり、6日の米雇用統計が予想と比べ弱い結果となったことや欧州債務問題の警戒感が高まったこと等を受けて前月下旬以来のドル安円高トレンドが継続しました。途中、日銀による金融追加緩和への期待の高まり等により値を戻す局面はありましたが、27日の日銀金融政策決定会合において金融緩和策の強化が発表されたにも関わらず欧州債務問題の先行き不透明感等から円高が進展し、79円台後半で月末を迎えました。米ドル/円の月を通じての変動率は前月を若干下回る水準となりましたが、それ以上に平成19年7月からの長期円高トレンドから2月から3月にかけて円安トレンドに転じたかにみえたところ再び円高に向かうなど、方向感が見えない相場展開となりました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、ユーロ/円が欧州債務問題に対する警戒感の高まりから前月と比べ変動率が高まったことを除けば概ね変動率は低下し、米ドル/円を含めた全体としての変動率は前月、前々月を下回る水準となりました。

このような中、外国為替取引高は、3月から実施した米ドル/円の更なるスプレッド縮小等の効果はあったものの、前月比約28%減少の80,325百万通貨単位となりました。また、営業収益は、取引高の減少に伴い485百万円となりました。顧客基盤については、顧客口座数が前月比2,437口座増加の192,007口座と堅調に推移し、外国為替取引預り証拠金も、顧客数の増加や顧客の主要外貨のロングポジション（買建の建玉）の増加に伴い前月比2,306百万円増加の41,341百万円となりました。

以 上